

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 11月 21日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0177100286		
法人名	特定非営利活動法人NPO社会福祉振興会		
事業所名	グループホームななかまど歌志内館		
所在地	歌志内市字中村34 - 1 (電話) 0125-42-2121		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年9月20日	評価確定日	平成19年11月20日

【情報提供票より】(19年8月15日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成16年6月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤	12人, 非常勤 1人, 常勤換算 12人

### (2) 建物概要

建物構造	木造		
	2 階建ての	1 階部分	

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	23,000~28,000 円	その他の経費(月額)	15,000~24,000 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		800 円

### (4) 利用者の概要(8月15日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	8	要介護2	4		
要介護3	4	要介護4	0		
要介護5	1	要支援2	1		
年齢	平均 81.1 歳	最低	66 歳	最高	92 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	勤医協神威診療所・砂川市立病院・中村歯科診療所
---------	-------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は近隣に道の駅や協力医療機関があるなど利便性に富み、周辺には川があり自然豊かな環境に立地している。地域の高齢者の割合は高く、「地域に貢献したい」という運営者の強い思いの基、平成16年に開設した。職員は利用者の尊厳を大切に、一丸となって日々のケアサービスに取り組んでいる。また、地域に認知症介護への理解を深める推進役を担っており、今後、地域と連携を密に取り更なる協力体制が築かれる事を期待できる事業所である。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での課題について、2ヶ月に1度事業所便りを発行して家族に送付しており、改善に取り組んでいる。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	自己評価を日々のケアサービスを振り返る機会としており、全職員で取り組んでいる。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	定期的に運営推進会議を実施しており、行事説明や報告等を行っている。会議を通じて事業所への理解が深められてきており、事業所の行事に協力が得られている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	契約書に苦情相談窓口を明示しており、入居時に家族に説明している。また、来訪時に職員は家族に積極的な声かけをし、家族が意見・要望等を伝えやすい雰囲気づくりに努めている。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	町内会に加入しており、祭り・盆踊り・敬老会などの行事に積極的に参加している。また、老人クラブの訪問を頻繁に受けており地域との交流が図られている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	平成19年4月に理念が改正されており、地域の一員として生活することを掲げた事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	施設長・管理者が日々理念について話しており、職員間で共有が図られている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しており、祭り・盆踊り・敬老会等に参加している。また、職員は町内の草刈りや川の清掃活動にも参加し、地域との交流に努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価を日々のケアサービスを振り返る機会としており、全職員で自己評価に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に運営推進会議を開催し、事業所の運営状況や評価結果等の報告がなされている。会議において活発な意見交換を行っており、日々のケアサービスの質の向上に繋げている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者と密に連絡を取り、運営推進会議以外でも事故・苦情等の報告や相談を行うなど、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月介護記録・通帳・小遣い帳等のコピーを家族に送付し、利用者の暮らしぶりや健康状態等を伝えている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>契約書に苦情受付窓口を明示しており、入居時に家族に説明している。また、来訪時に職員は家族に声かけをし、家族が気軽に意見・苦情等を伝えやすい雰囲気づくりに努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動や離職については、事前に利用者・家族に説明がなされている。また、担当者2名の体制を取って同時に異動・交代のないよう配慮し、利用者のダメージを防ぐ工夫をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部・外部の研修会に参加する機会を多く設けて、全職員が段階に応じて積極的に受講し新たな知識を取り入れて日々のケアサービスの実践に活かしている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>認知症ケアネットワーク・空知管理者連絡会・ケアマネジャー研究会等の参加を通じて同業者と交流し、サービスの質の向上に繋がるよう努めている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に利用者本人・家族に事業所見学をしてもらい、事業所の雰囲気に馴染んでからの入居となるよう工夫している。また、利用者が馴染めない場合は家族に宿泊してもらうなど対応している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者が出来る事や得意な事を把握して力を活かせる場面づくりに努め、協力しながら作業したり学び合うなど支え合う関係が築かれている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	職員は利用者の表情や言動からも意向・希望の把握に努め、その人らしい暮らしとなるよう努めている。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	会議において職員間で話し合い、家族の意見・希望を採り入れながら介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	3ヶ月に1度の見直しを行っており、利用者の状態に変化があった場合は、そのつど話し合い現状に即した介護計画を作成している。		
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	受診の付き添い・通院の送迎・墓参りなど、利用者の希望に応じた柔軟な支援を実践している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族の希望する医療機関での受診支援を行っている。また、利用者それぞれのかかりつけ医による定期往診があり、いつでも相談出来る体制が築かれている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化や終末期に向けた方針について入居時に家族と話し合っている。また、利用者の身体状況の変化に応じてそのつど話し合い、方針を共有している。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は利用者一人ひとりの尊厳を大切にしており、会話の内容や話し方などにも配慮している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者のペースを尊重し、一人ひとりの希望に沿った支援を実践している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けなどを利用者と職員が一緒に行っている。また、和やかな雰囲気の中で同じ食卓に着き、食事を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	時間帯やタイミングなど、利用者の希望に応じた入浴支援を行っている。また、入浴を拒む利用者には様々な工夫により対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者の生活歴や得意なことを把握しており、力を発揮できるような場面づくりや楽しみごとを支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買い物・山歩き・ドライブ・墓参りなど、一人ひとりの希望に応じた外出支援を行っている。また、外出を嫌がる利用者にはさりげなく声かけをして戸外にできるように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全職員が鍵をかけることの弊害を十分理解しており、鍵をかけない支援を行っている。また、利用者が外出しそうな様子の時は職員が付き添うなど対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署や地域住民の協力を得ながら避難訓練や消化訓練を実施している。また、連絡網・訓練記録も整備されている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は利用者の食事・水分摂取量・残食量を記録しており、栄養・水分量を確保できるよう努めている。また、一人ひとりの好みを把握し、献立を工夫したり別メニューを用意するなどの対応をしている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間にはソファ・椅子・テーブルが配置され利用者が寛いで過ごせるよう工夫している。また、音・匂い・温度・湿度にも配慮されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には馴染みの物が持ち込まれており、安心して過ごせるような空間となっている。また、一人ひとりの好みに応じた表札や目印が掛けられており、その人らしい居室となるよう工夫がなされている。		

 は、重点項目。